



感染症対策とともに2学期スタート

短い夏休みが終わり、昨日から2学期が始まりました。4月以降、休校・分散登校の後、8月7日までの1学期、2週間の夏休み…と、異例づくめの1学期でした。生徒の皆さんには感染症予防や行事の中止、変更など思ったようにならない1学期だったのではないのでしょうか。

保田中学校では、現時点で昨年度の未履修部分も含め、例年の1学期とほぼ同じ範囲の学習を終えています。また、ZOOMを使った生徒総会や、密を避けて水泳の授業も実施できました。今後、新型コロナウイルスの感染がどのように広がるのか、収束するのかは予想すらできませんが、2学期は感染症対策を十分にとりながら、いつもとは違った形の行事を行っていきたいと思っています。

そのためには、新型コロナウイルスについて正しく理解し、予防対策を各自の自覚のもとに実行しなければなりません。昨日の始業式の校長講話では新型コロナウイルスについてのお話をしました。最近では、家庭内での感染が増えているという報道をよく目にします。確かに、おうちではご飯を食べたり会話をしたりしますが、家の中でまで「マスクを着けて生活をする」ということはほとんどないと思います。(実際そこまでするのはしんどいですよね…) 下の6点は和歌山県が提示している家庭内での感染を防ぐポイントです。

感染者ではないので、すべてを実行していただかなくても結構ですが、食事の時に一人ずつ盛り付けたり、コップやペットボトルの回し飲みをやめたり、タオルを分けるだけでも予防効果は得られると思います。また、部屋の換気や手洗いなどは引き続き実行していただきたいと思います。

昨日お話しした内容の抜粋を裏面に記載します。ご家庭でも話し合う機会を持っていたけると嬉しいです。

《家庭内感染の予防について》

- 症状のある人は家の中でもマスクをする
- 症状のある人は別の部屋で過ごす
- 時々部屋の換気をする
- 症状のある人は家族とは別の場所や時間をずらして食事をする
 - 一人ずつ盛り付ける
 - コップやペットボトルの回し飲みをしない
- 症状のある人がお風呂に入る時は、最後に入る
- こまめに手洗いをする。特に食事前、トイレ後、外出から帰ったら、せっけん・流水でよく洗う
 - タオルを共用しない

新型コロナウイルス 《COVID-19》とは

- ・「太陽の周りがあるコロナ」のような膜で覆われているのでコロナウイルスと言います。
- ・風邪やインフルエンザのウィルスもコロナウイルスの一種です。
- ・コロナウイルスは、自分自身で増えることはできません。
- ・粘膜などに付着して、細胞に入り込んで増えることができます。

どのように感染しますか？

- ・感染経路は、飛沫感染と接触感染です
- ・健康な皮膚からは入り込むことができず、表面にくっつくだけです。
- ・手洗いは、たとえ流水だけでもウィルスを流すことができます
- ・石けんやアルコールはウィルスの膜を壊し感染力を失わせます。

《飛沫感染とソーシャルディスタンス》



《接触感染》



コロナウイルス感染事例を考えよう！



(廣井先生がイラストを描いてくれました)

右の図で感染事例があるのは②③④です。

①はほとんどの人がマスクを着けている状況で、すれ違っただけでは感染しないと言われていいます。厚生労働省のアプリでは15分以上接近した状態の人に通知が届きます。

②～④はマスクを着けていません。③は屋外ですが近距離でマスクなしの会話で飛沫感染が起っています。④の部屋は、換気を十分にしていないという想定です。3密の1つ、密閉の状況です。これらはあくまで事例です。必ずしも感染がおこる訳ではありません。

- ☆ だれでも感染する可能性があります。
- ☆ 感染した人への誹謗中傷などは、許されない行為です。
- ☆ できるだけ感染しないように、しっかり予防をしましょう。
- ☆ 「もしかしたら、知らない間に自分が感染しているかもしれない」という考え、行動しましょう。